

## 第9回 鳴瀬川総合開発環境検討委員会 技術的助言

日 時 : 令和5年11月13日(月)

### 1. 調査結果及び今後の調査計画(案)について

#### (1) 動物及び植物、生態系

NO	意見	回答及び対応方針
1	ミズナラを利用する動物との関係を把握するための参考として、クマの出現状況について、現地と県内の他地域と異なるか確認しておくが良い。	結実調査において、クマの出現情報も併せて整理していく。
2	クマタカの繁殖結果表で、前年の幼鳥の残留有無など繁殖に関わる情報も確認できると良い。	繁殖に関わる情報が結果表の中で確認できるよう整理していく。
3	サクラマス、アユいずれも重要な水産資源である。今後の事業中及び完了後に流況が変化した場合、これらの越夏や産卵場所に影響する可能性があるため、現状をしっかりと把握すること。	生態系典型性河川域の調査で、事業実施区域及び田川合流点までの鳴瀬川において、サクラマスの越夏状況、サクラマス及びアユの産卵状況確認を行う。
4	ナガエミクリについて、種子の発芽実験も念のため実施してはどうか。また種子の保存方法も文献を確認し検討するとよい。	発芽及び保存方法に関する文献を確認する。その結果を踏まえ実施方法を検討する。

#### (2) 景観

NO	意見	回答及び対応方針
1	景観について、植生分布を紐づけるなど今後も活用できるように目的を明確にしておいた方が良い。	景観の写真に、撮影範囲における植生情報等コメントを記載しておき、事業完了時点において比較が出来るように整理する。
2	景観について、最終的なダムの完成イメージとあわせて整理し、位置関係や工事によりどのように変化するかが分かると良い。	景観の写真に、撮影範囲における植生情報等コメントを記載しておき、事業完了時点において比較が出来るように整理する。
3	景観について、生態系調査を実施する箇所併せて撮影ができればよいと考える。	景観の写真に、撮影範囲における植生情報等コメントを記載しておき、事業完了時点において比較が出来るように整理する。